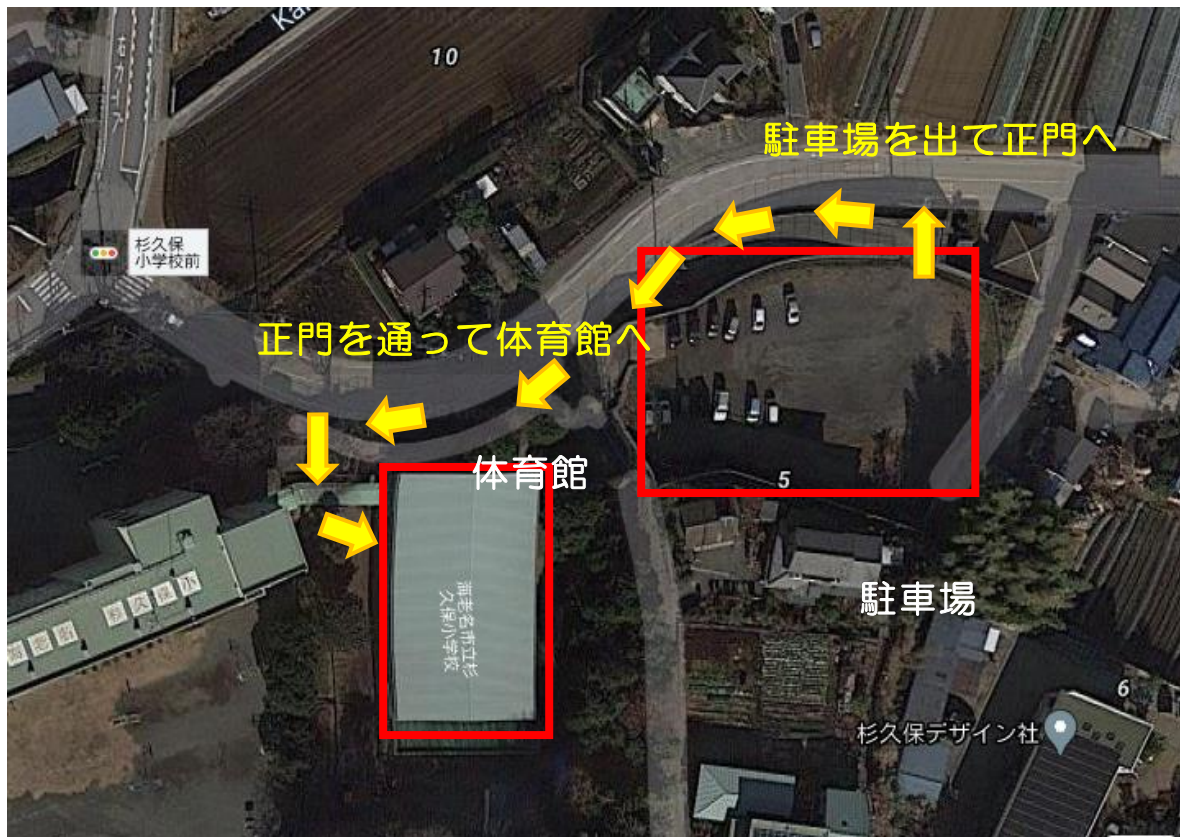


第7回全日本女子総合選手権神奈川県大会 参加チームマニュアル

神奈川県ドッジボール協会

① 駐車場について

○駐車場への駐車は、写真の車のように駐車する。(台数制限は設けない)



② 受付について

※提出資料に不備があった場合、参加できません(出場メンバー健康状態確認表)ので、必ず提出前に確認するようにしてください。

○体育館入口にて受付を行います

○先頭に代表者(受付)、次に選手、最後に、指導者の順番で来てください。

その際、以下を提出してください。

- ・ 出場メンバー表
- ・ 出場メンバー健康状態確認表

○主催側から、パンフレット(タイムスケジュール)をお渡しします。

○監督会議はおこないませんので、事前に質問がある場合は、受付にて申しつけ下さい。

③ 入場について

○体育館入口前にて、1チームずつ検温を実施します。

→入口には、1チームずつ入場しますので、その際、こちらで検温をします。

※1列で並んで入場するようにしてください。

※体調不良、37.5℃以上ある場合は、会場内に入ることができません。

○靴は、指定された靴箱に入れるようにしてください【チーム毎】

○入場したら、指定された場所へ荷物を置いてください。【主催者側から伝えます】

○準備が出来たらアップの時間を設けます。

○保護者の入場は一切できません。消毒対応で2名のみ入ることができます。

④ 体育館について

○体育館内では、決められた場所で待つようにしてください。

→試合をしていないチームは、外で待つことになります。

○待機場所では、間隔をあけて、マスクを着用し待機してお待ちください。

○観客席の電源コードは使用しないでください。

○ビデオ撮影等はできますが、フラッシュ撮影はしないようにしてください。

○ポットを置いたり、ブルーシートを引いたりすることはしないようにしてください。

○開会式は行いません。競技説明、諸注意事項のみお伝えします。

→それ以降は、順次試合を行っていきます。

○総当たり戦を2周おこない、総合順位を決定します。

○試合終了後、各チームの表彰をおこない、終了とする。

→大会終了後、荷物を置いてある場所に戻り、速やかに帰る準備をする。

→帰る場合は、間隔をあけて、1列で帰るようにしてください。

★ 各チームは、使った場所（ベンチ・荷物置場等）を出る時は、その都度、各チームで消毒をしてからでるようにしてください。

⑤ その他

○試合時以外は、すべての人が、必ずマスクを着用してください。

★ 消毒担当の保護者、指導者は、すべての時間マスクの着用を義務づけます。

○観客席での応援は一切することができません。（鳴り物も禁止とします）

○体育館内には、登録したメンバー（選手、指導者）以外の方は入場することができません。

※但し、体調不良等が発生した場合は、対応していただく可能性があるため、引率の保護者（消毒担当）の方が対応してください。 → 最初に必ず本部へご連絡ください。

○出場メンバー健康状態確認表は、毎日（2週間）計測してください。

＜トイレの使用について＞

・トイレを済ませて、手を洗った後に、靴を履いて、最後に必ず消毒してから出てください。

・トイレを出た時に、足ふきマットで必ず足裏を拭くようにしてください。

⑥ 感染者が発生した場合の対応について

＜1＞ チーム内の選手、保護者に感染者が発生した場合

- ・過去2週間、選手が練習に参加している場合、濃厚接触者の可能性があるため、チームとして参加することを認めない。
- ・保護者が感染した場合も、保護者の子どもが濃厚接触者となるため、チームとして参加することを認めない。

＜2＞ 選手、保護者の学校、職場に感染者が発生した場合

- ・チーム内の選手・保護者の学校、職場等に感染者が発生した場合は、濃厚接触者ではないが、感染している可能性を考え、2週間、選手、保護者は、チームの練習に関与しないこと。また、2週間が大会にかかる場合は、大会に参加することを認めない。

＜3＞ 大会当日37.5℃以上または体調を崩している場合

- ・チェック表に該当する項目について、体調不良が発生している場合は、該当する選手、保護者、指導者は大会に参加することを認めない。
- ・また、チェック表に該当しない項目以外で、体調不良を訴えている場合、該当する選手、保護者、指導者は大会に参加することを認めない。

※ チーム内およびチームに近い方に感染者が出た場合、速やかにチームとして対応し協会へ報告をしてください。大会では、大会に関係した方すべての名前を名簿として体育館側に提出します。もし、その後、チームとしてわかっていたにもかかわらず、早急に対応せず、感染者を出してしまった場合、ドッジボールとして以後できなくなる可能性があります。ドッジボールに対しての見方が世間から難しいものとなってしまいますので、参加する方、関わる方1人1人が、ドッジボールに対して真剣に向き合っていただけますよう、御協力をお願いいたします。

以上